

SIRIUS DISCLOSURE

2015年1月29日

掲載し、広く配布してください



The Imperative of Consciousness

意識の規範

スティーブン・M・グリア, 医師

我々が ETI（地球外知性体）との相互作用について話すとき、結局のところ我々は、単に何かの自然現象や生物学的過程の観察結果ではなく、進化した意識的知性体との接触について語っているのである。それゆえに、注意深い考察が ETI の意図についての我々の考えのみならず、我々自身の意図と心構えについてもなされなければならない。新しく未知なものに対して排外的、暴力的、さらには偏執的にさえ反応する人間の性向 - ETS（地球外宇宙機）に対する軍と一般市民の両方の反応が十分にこれを証明している - は、取り上げられて修正されなければならない。理解できないもの、制御できないものは何でも、本来的に敵意あるもの、恐ろしいものと見なす人間の性質は、克服されなければならない。私的利益、不当利益のやみくもな追求、および ETS（地球外宇宙機）／ETI（地球外知性体）を主に‘獲得’の枠組みで見ようとする傾向は、改められる必要がある。もし我々が ETI の‘裏をかき’、彼らの技術およびエネルギー源を獲得しようという動機から行動するならば、我々の試みは失敗するだろう。もし我々が貪欲、恐怖、推測にもとづく敵意、疑念をもって ETI に接近するならば、そのとき我々の取り組みは、当然ながらことごとく無駄に終わるだろう。

我々が相手にしている存在者たちが、テレパシーによっても通常の方法によっても、我々の真の意

図と動機を読み取り、我々の‘努力の精神’を感知する能力を持っていることに、疑問の余地はない。成功するためには、我々の努力の精神が、科学的開放性、真理への探求心、他者の幸福を願う心、無私の心、悪意なき心、無欲の心を伴っている必要がある。ETI-人間関係を平和的に促進する願望が、何にもまして重要である。これらのことから、研究や調査を行なう人間側の‘動機の純粋さ’こそが第一の必要条件であり、特定の技能、専門的知識、技術は、重要ではあるが二次的考察となる。我々の意識の幅広さと透明さが不可欠であり、それが重要性において他のすべての考察を超越する。技術と外面的な物事への我々のこだわりが、ETI-人間関係の全体像とそれがもたらす結果のすべてを曖昧なものにしがちである。能力と知識を軽視することはできないが、我々は意識の第一義的な重要性を断固として主張しなければならない。この点において、ただ 1 個のフラッシュライトを携えた高潔な意図を持つ初心者が、進んだ技術と要員と数十億ドルの資金を自由に使えるが、より劣った動機しか持たない政府機関よりも、大きな成功を収める（すでに収めた？）ことがあり得る。確かに、かがり火を焚く一人の先住民がそれだけを用いて通信を確立し、真実の発見に近づくことがあるのである！

同じほどに重要な問題が、ETI（地球外知性体）の意図と動機を我々がどのように考えるか、ということである。もしタブロイド紙、扇情的な本、うわさの情報源を信じられるとすれば、ETI はすべて導師のような宇宙の神々か、そうでなければ宇宙の征服者ダース・ベイダーである！ この論点のいずれかに分極する我々の性向は、早計であり、かつ根拠がない - また危険でもある。ETI が完全なる神々であったり、邪悪な帝国の工作員であったりすることは、ありそうにないことである。それでも、ETI の動機についてのこれらの見方は、我々の心構えと行動に影響を及ぼしてきたし、意識的に対処しなければこれからも影響を及ぼし続けるだろう。今日までの事例を精査してみると、ETI たちの行動の一部は、人間側の感性のある部分にとり不可解であり、憂慮すべきであるとさえ言うだろう。しかし、基本的に敵意を示す証拠はどこにもない。ここで我々は、行動について人間側の認識と実際の意図または動機とを区別しなければならない。これらは二つの別々の考察だからである。（この主題のより綿密な取り扱いについては、‘The Case of Non-Hostility’ [訳者註：本論説が収録されている原著書の p.48-55] を読みたい） 一見憂慮すべきことに思える行動は、実際には中立的な、場合によっては好意的な目的のために起こされたのかもしれない。一人の救命救急医として、子供や外傷を負って機能障害になった成人の患者が、私の懸命の処置を苦痛に思うあまり、私が害意を抱いてそうしているのだと思っても不思議ではないし、そう思われぬ日など一日もない。私の動機がそれとは正反対であるにもかかわらずである。おびえた子供が、私の行動を危険で悪意あるものと認識するのは、子供のレベルにおける意識と知識の機能であり、私の真の意図を反映したものではまったくない。世間一般の通念では敵意があると見なされ、悪意の証拠とされた一部の ETI 事象において、類似した現象が起きている可能性はないのか？

CE-5（第五種接近遭遇）構想の研究においては、“ETI をまずは信用する” の原則に立ち、そうでないと証明されるまでは、彼らに敵意がないことを前提にするのが重要である。ETI に敵意があることを前提にすると、将来の互恵的コンタクトの雰囲気損ない、対立のない ETI-人間関係の発展を妨げることになる。これは、人間の歴史上ただ一度の機会であり、さらに進展させるためには、勇気、信頼、自制が必須の前提条件となる。ETI に敵意はないと前提することは、我々が盲目的に無邪気になることでも、ETI を完全無欠の神のような救済者であると思いつくことでもない。ま

さにこれが、ET 存在者たちに対する開放的な、疑念を持たない、建設的な心構えを持つということなのである。そうでなければ、対立と敵意にもとづく現実がつくられることになる。それは、人類がすでに繰り返し歩んできた茨の道である。

実際の研究者や接近遭遇経験者たちの意識の向こう側には、人類全体の背景意識という重要な要素がある。ETI-人間の相互作用がこれからどのような種類と性質になっていくのか - したがってまた、CE-5 の取り組みがどのような具体的結果をもたらすのか - は、ある程度人間社会の進化水準に依存し、それによって制限もされるだろう。軍事主義、闘争、暴力が大きな関心事である現状を考えると、ある ET 文明が人間との開放的コンタクトの程度を自ら制限しているとしても、驚くべきではない。人間社会が世界平和と協調のために必要な移行を成し遂げるにつれて、ETI の開放性と互恵的な意思交換が同時に増大するのを、我々は見ることになるだろう。この意味で、CE-5 構想の成功は人類の平和と統一に直接依存している。またそれゆえに、世界平和、世界統一、協調が、将来の ETI-人間事象の重要な決定要因となるのである。CE-5 構想の深さと質はささやかなものかもしれない。しかしその深さと質は、人間社会が平和と統一に向かって進化するにつれて、より深く、より高くなっていくだろう。

スティーブン・M・グリア著：

[“Extraterrestrial Contact: The Evidence and Implications”](#) (異星人コンタクト：証拠と意味) p. 178 - 180 より

下記のページに、グリア博士の論説が多数掲載されています：

www.SiriusDisclosure.com/cseti-papers



コンタクト・アプリについて：

オーストラリアで撮影 - 写真をクリックすると証拠写真のページに移動します。

私たちには 2 種類のコンタクト・アプリがあります：

コンタクト・トレーニング・プログラム・アプリとネットワーキング・アプリです。

それぞれのアプリの詳細な説明が <http://www.siriusdisclosure.com/> に掲載されています。

ツールバーの [Apps] でドロップダウンメニューから選択してください。

コンタクト・トレーニング・プログラムはグリア博士の資料で構成される完全なトレーニング・プログラムです。瞑想ガイド、皆さんが目撃するかもしれない光景の映像、その他多数が含まれます。

主な内容：

- 公式トレーニング資料（グリア博士による）
- 分かりやすいマニュアル，2時間超の音声指導，瞑想ガイド（グリア博士による）
- 現場で使用する科学機器。この中には異常現象を検出するための磁気探知機およびコンパスが含まれます（残念ながら，磁気探知機およびコンパスはすべてのスマートフォンでは動作しません。余りにも多くのアンドロイドがあり，それらの全部を試すことはできませんでした）。
- これまでのコンタクト・イベントで得られた映像，音声，記述による描写
- すべての資料がアプリの中で完結しています - ウェブへの接続は不要です。

トレーニング・プログラム・アプリ - iPhone およびアンドロイド用 - についての詳細な情報が[ここ](#)にあります。

私たちのウェブサイトを送られた電子メールの中で，ある人はアプリの発信音を使った経験や目撃を述べています。長いメールですが，その人の最後の結論はこうでした：“アプリが出る前に起きたすべてのコンタクトは，YouTube に掲載されたグリア博士のビデオから知ることのできた，私の自作のプロトコルによるものでした．．．それは効果がありました．．．実際とてもよく機能しました。しかし今はアプリがありますので，それを用いてプロトコルを洗練することができます”

人々は，グリア博士のプロトコルを利用して驚くべき経験をしています。

私たちのネットワーキング・アプリ／ウェブサイトを使って，同好の人々をつながり形成したり，経験を共有したりしてください。

<http://www.etcontactnetwork.com/>

（訳： 廣瀬 保雄）

SIRIUS DISCLOSURE

January 29, 2015

Please post and circulate widely



The Imperative of Consciousness

Steven M. Greer, MD

When we speak of interacting with ETI (Extraterrestrial Intelligence) , we are, after all, talking about reaching out to advanced conscious intelligent beings, and not the mere observation of some natural phenomenon or biological process. For this reason, careful consideration must be given to not only our view of ETI's intentions, but more importantly, to our own intentions and attitudes. The human tendency - well evidenced by both military and civilian reactions to ETS (Extraterrestrial Spacecraft) - for xenophobic, violent and even paranoid reactions to the new and unknown must be addressed and rectified. The human predisposition to view anything which we do not understand or control as intrinsically hostile and threatening must be overcome. The blind quest for personal gain, profiteering and an inclination towards viewing ETS/ETI in predominantly 'acquisition' framework needs to be altered. If we are motivated by a desire to 'out-smart' ETI and acquire their technology and energy source, then our efforts will fail. If we approach ETI with greed, fear, assumed hostility and suspicion, then we shall expend our efforts in vain.

There is no doubt that we are dealing with beings who are capable of reading, by both telepathic and conventional means, our true intentions and motivations, and who can sense the "spirit of our endeavor". Success requires that the spirit of our endeavor be one of scientific openness, the search for truth, altruism, selflessness, harmlessness and non-covetousness. A desire for the peaceful furtherance of the ETI- Human relationship is paramount. For these reason, "purity of motive" on the part of human researchers and investigators is a primary requisite while specific skills, expertise and technology are important but secondary considerations. The breadth and clarity of our consciousness is imperative and transcends all other considerations. Our obsession with technology and outward things tends to obscure the Big Picture of the ETI/Human relationship, and all that it entails. While competence and knowledge cannot be slighted, we must insist on the primary importance of consciousness. In this regard, it is likely that a novice possessed of noble intentions and equipped with only a flashlight would meet (has met?) with greater success than a governmental agency motivated by lesser intentions, even

though it has advanced technology, personnel and billions of dollars at its disposal. Indeed, an aboriginal with only a bonfire may go further in the establishment of communication and the discovery of truth!

Of almost equal importance is the question of how we view ETI intentions and motives. If the tabloids, sensationalist books and rumor mills are to be believed, ETI are all either guru-like space gods or Darth Vader space conquerors! Our tendency to polarize on either side of this issue is both premature and unwarranted - and it is dangerous. It is unlikely that they are either perfect gods or evil empire operatives, yet these views of their motives have influenced and will continue to influence our attitudes and actions unless consciously addressed. A review of the cases to date would indicate that while some actions are enigmatic and even disturbing to some human sensibilities, no evidence of net hostile intentions exists. Here, we must differentiate between our perceptions of actions and actual intentions or motives, since these are two separate considerations. (For a more thorough treatment of this topic see "The Case of Non-Hostility"). A seemingly disturbing action may occur for a net neutral or even benevolent purpose. Certainly as an Emergency and Trauma doctor, not a day goes by where a child or impaired adult victim of trauma could view my efforts to help him as painful and therefore motivated by a desire to do harm, even though my motives are just the opposite. That a frightened child perceives my actions as hurtful or malevolent is a function of the child's level of awareness and knowledge, and in no way reflects my true intentions. Could not an analogous process be occurring with some ETI events which conventional wisdom has deemed hostile and therefore as evidence of malevolent intentions?

Certainly for CE-5 Initiative research it is important to give ETI the benefit of the doubt, and until proven otherwise, assume non-hostility. An assumption of ETI hostility will poison the atmosphere of future bi-lateral contact and prevent the development of an ETI-Human relationship free of conflict. This is one time in human history where fortitude, trust and self-discipline are essential prerequisites to further progress. The assumption of non-hostility does not equal either blind naivete or an assumption that ETI are perfect god-like saviors. But it does mean holding an open, non-suspicious and positive attitude towards ET beings. To do otherwise is to create a reality based in conflict and hostility, a thorny path already well traveled by the human race.

Beyond the consciousness of actual researchers or those who have had close encounters is the importance of the background consciousness of humanity as a whole. The type and quality of any further ETI-Human interactions - and therefore the specific results of any CE-5 Initiative efforts - will be in part dependent on and limited by the level of evolution in human society. We should not be surprised if an ET civilization prefers to limit the degree of open contact with humans given the present preoccupation with militarism, conflict and violence. As human society makes the necessary transition to world peace and cooperation, I believe we will see a concomitant increase in ETI openness and bilateral communication. In this sense, the success of the CE-5 Initiative is directly dependent on the peace and unification of the human race. World peace and world unity and cooperation then are the important determinants of future ETI-Human events. The depth and quality of the CE-5 Initiative may prove to be modest, but these will increase as human society evolves towards peace and unity.

From: "[Extraterrestrial Contact: The Evidence and Implications](#)" by Steven M. Greer, MD
p. 178 - 180

For more -papers by Dr. Greer go to www.SiriusDisclosure.com/cseti-papers

Our Contact Apps:



Taken in Australia - Click photo for other photo evidence

We have 2 apps:

A Contact Training Program App and a Networking App.

For a full description of each please go to our website . www.SiriusDisclosure.com. Go to apps on the toolbar and the drop down menu will connect you to pages describing each one.

The Contact Training Program is a full training program of Dr. Greer's material including guided meditations, videos of what you might see and much more.

Features:

- Official training materials authored by Steven M. Greer, M.D.
- Well-organized instructional manual with over two hours of audio tutorials and guided meditations by Dr. Greer.
- Working scientific instruments including a magnetometer and compass for detecting anomalous activity.* (The magnetometer and compass unfortunately do not work with all phones. There are so many androids it was not possible to test it on all of them.)
- Includes Images, sounds, and written descriptions of prior contact events.
- All materials are self-contained within the app- no web connection is required.

For more information about the Training Program app - iphone or android - click [here](#).

In an email sent to the website, someone described sightings and experiences with the tones that are on the app. It was a long email but his final conclusion was:

"All the contact that has happened before the app was done with protocols I created with what I could get from Dr Greer's videos on YouTube...they worked...really well in fact, but now with the app, I can refine them. "

Folks have amazing experiences applying Dr. Greer's protocols.

Use our Networking app/website to connect with other like minded people to form contact groups or share experiences together. www.ETContactNetwork.com

[Forward this email](#)

 SafeUnsubscribe™

This email was sent to m560hiro@flute.ocn.ne.jp by info@siriusdisclosure.com | [Update Profile/Email Address](#) | Rapid removal with [SafeUnsubscribe™](#) | [Privacy Policy](#).



CSETI | 1210 Crozet Avenue | Crozet | VA | 22932